



# 明化の教育

5月号(第500号)  
令和4年5月2日  
文京区立明化小学校  
校長 熊倉 勝

## 「子供が学校生活を創る」ことを大切に

校長 熊倉 勝

「教室まで連れて行きましょうか。」と私に話しかけ、「一緒に行こう。」と実に優しく、気持ちに寄り添って1年生に声をかける6年生。昇降口に入るのをためらっていたその子も少しずつ歩を進め、ピロティへ行くことができました。ある朝の昇降口での光景です。私自身、ほっとすると同時に最高学年としての自覚ある行動に頼もしさを感じました。子供たちの力は、計り知れないものです。子供同士で気持ちを通じることがあるのでしょうか。子供たちの力を改めて実感するとともに、もっともっと子供を信じて任せていく必要があるとも思いました。今、6年生が1年生のお世話で大活躍しています。

さて、明化小学校では、指導するときの判断規準として次の4点を挙げています。

- ① 命に関わる時は全員が指導する。【生命尊重】
- ② 人権に関わる時は全員が指導する。【人権尊重】
- ③ 人に迷惑をかけた時は全員が指導する。【社会性の育成】
- ④ 既習経験がない時は全員が指導する。

そして、子供たちには、分かりやすく①「自分を大切に」②「友達を大切に」③「みんなを大切に」とし、4月の全校朝会で一つずつ詳しく話をしました。

### ① 「自分を大切に」

私たちの命は一つしかありません。一度なくすと元に戻りません。せっかく生まれてきたのですから、大切に生きていたいものです。階段の飛び降り、昇降口から道路への飛び出しなど、失敗したら、車が来たら、危ないなとちょっと考えられるとよいと思います。そして、自分の命も大切ですが、他の人の命も大切です。命は大切にしましょう。

### ② 「友達を大切に」

まずは、友達が嫌がるようなことを言ったり、したりしないということです。私は、鼻にほくろがあります。今は全然気にしていませんが、小学生の頃、このほくろのことを友達に言われて、嫌な気持ちになったことがありました。体に関することは、言わないようにするとよいです。

### ③ 「みんなを大切に」

これは、みんなに迷惑をかけないということです。まずは、決まりを守ることが大事です。また、自分では、おもしろいと思ってやっていることでも、人に迷惑をかけることがあります。でも、どんなことが迷惑なのか、よく分からないかもしれません。どうしたらよいかという、自分がやられて嫌だと思ったことは、他の人にやらないことです。

学校では、このように生命尊重、人権尊重、社会性の育成に努力していきます。また、子供たちに示した「自分を大切に」「友達を大切に」「みんなを大切に」をもとに、各学級でのルールは学年に応じて子供たちと話し合いながら決めていくとよいと考えています。子供自身が考え、アイデアを出し合って、自分たちで生活創りをしていくなど、「子供が学校生活を創る」という経験を積むことを通して、明化小学校が目指す子供の自立へつなげていきたいと思っています。



本校のシンボルである「クスノキ」も元気に校舎改築を見守っています。